

令和2年度分 事業所向け 児童発達支援評価表

児童発達支援センターあはは

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	20		
	②	職員の配置数は適切であるか	20		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20		
	④	生活空間は、清潔で、心地がよく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	20		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	19	1	
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等により保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	20		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	20		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	20		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	20		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	19	1	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子ども支援に必要な項目が適説に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	19	1	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19	1	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	20		
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	16	4	子どもの姿によってあそびを展開していく力が不十分です。保育内容を見直したり、保育者同士で客観的に評価するような機会を作っていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	20	1	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	20		

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	20		
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	20		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	19	1	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	20		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	20		
	㉓	(医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関連携した支援を行っているか	20		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	19	1	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18	2	1月から3月の間、相談支援を中心とした移行支援の準備をしています。担当者会議やリレーファイルづくりなどに取り組んでいます。また、入園後のフォローも訪問して行います。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	19	1	上記同様、移行支援をおこないます。2月末時点で、入学先の学校との引継ぎ、また放課後等デイサービスとの引継ぎを終えています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	17	3	他機関との連携する機会は今年度は特に少なかったように思います。自立支援協議会の中で他機関との連携を図れる機会を持っていきたいです。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13	7	毎年、年長児に関しては地域の保育園等に出向き、交流を図る機会を設けていますが、今年度は感染防止の観点から設けることができませんでした。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	18	2	自立支援部会の開催も今年度は少なかったです。開催されるときには参加していますが、実践に結び付く有意義なものになっているかと疑問はあります。
		㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	19	1
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている(あははではペアトレは行っていません)	9	11	今年度は保護者向けの勉強会等の開催ができませんでした。また、家庭背景を十分にアセスメントができていないのではという職員からの声も上がりました。次年度は事業所内相談を充実させていきます。
保護者への説明責任等	㉜	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	20		
	㉝	児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	20		
	㉞	定期的に、保護者からの子育て悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	20		
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	20		

保護者への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に苦情について、対応の体制を整備するとともに、周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	20		
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	20		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	20		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	12	今年度は感染防止の観点から地域の方との交流の場を設けることができませんでした。交流の場を設けるだけではない地域の中での事業所の在り方を検討中です。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	19	1	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	20		
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	20		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	20		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	20		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	20		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	20		